

令和5年度

更別村教育委員会の活動状況  
に関する点検・評価報告書

(令和4年度対象)

令和5年12月

更別村教育委員会

## は じ め に

平成 20 年 4 月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、教育委員会の事務管理・執行状況について点検し、評価をすることが義務付けられました。

この改正により、平成 19 年度分以降の教育行政に関する点検・報告につきまして、更別村議会に教育行政報告を行っているところです。

開かれた教育委員会を目指し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民の皆様へ教育委員会が執行した活動状況はもとより、「第 6 期更別村総合計画」及び「第 9 次社会教育中期計画」を基準とした実施状況等、事務の管理・執行状況について点検し評価を行い、令和 4 年度の事業等を対象として報告書を作成しましたので、ここに公表致します。

更別村教育委員会は、学識経験者の意見を踏まえ、この点検・評価を通じて教育施策を着実に推進してまいりたいと考えていますので、ここに村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**令和 5 年 1 2 月**

**更別村教育委員会**

# 目 次

## 第1章 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の会議の開催状況	5
2. 教育委員会関係規則等の制定及び改正状況	6
3. 教育委員会委員の活動状況	7
4. 各種委員会等の設置及び概況	10
5. 令和4年度教育予算の状況	11
(1) 予算編成	
○当初予算・補正予算	
(2) 教育費の予算	
(3) 重点施策に関連する主な事業決算額	
6. 頑張る子供たちへの支援	16
7. その他	18
○令和4年度各会計決算資料の掲載事項	

## 第2章 第6期更別村総合計画に基づく評価

1 社会教育	20
2 芸術、文化	22
3 スポーツ	24
4 子育て支援	26
5 学校教育	28
6 青少年育成	31
7 国内外交流	32
◇ データ	33

<b>8. 令和4年度 教育委員会の事務・事業 評価</b> . . . . .	<b>36</b>
(1) 評価の目的	
(2) 評価の区分	
(3) 評価書のランク	
(4) 事務・事業ごとの評価	
<b>○事務・事業評価書</b> . . . . .	<b>37</b>

## 第1章 教育委員会の活動状況

### 第1章のポイント

教育委員会の会議の状況や規則等の制定・改正、委員の活動状況、各種委員会の設置状況など、令和4年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

## 1. 教育委員会の会議の開催状況

更別村教育委員会の会議は公開を原則として、以下のとおり開催しています。

この会議では、教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定・改正などを含む様々な議題について審議しています。

期 日	付 議 案 件 等
令和4年4月15日	(報告) ・令和4年度学級編制の認可及び児童生徒数等について 他7件 (議案) ・令和4年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について 他5件
令和4年5月24日	(報告) ・学校における新型コロナウイルス感染状況について 他4件 (議案) ・更別村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 他2件
令和4年6月21日	(報告) ・各種委員の委嘱について 他1件 (議案) ・更別村教育委員会委員の辞職の同意について
令和4年7月20日 (移動教育委員会議)	(報告) ・更別村教育委員会委員の任命について 他9件
令和4年8月23日 (移動教育委員会議)	(報告) ・学校における新型コロナウイルス感染状況について 他1件 (議案) ・令和4年度教育費補正予算(案)の提出について 他8件
令和4年9月22日	(報告) ・更別村教育委員会委員の任命について 他4件
令和4年9月27日	(議案) ・更別村教育委員会職員人事の承認について
令和4年10月27日 (移動教育委員会議)	(報告) ・教育委員会各種行事・動向について 他1件 (議案) ・更別村文化賞・スポーツ賞等受賞者の決定について 他1件
令和4年11月22日	(報告) ・教育行政報告について 他2件 (議案) ・令和4年度更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書(案)の提出について 他3件

令和4年12月21日	(報告) ・教育委員会各種行事・動向について 他6件 (議案) ・更別村教育委員会職員人事の承認について
令和5年1月17日	(報告) ・学校等の臨時休業等について 他2件 (議案) ・令和5年度教育費当初予算(案)の提出について 他2件
令和5年2月22日	(報告) ・教育委員会各種行事・動向について 他3件 (議案) ・令和5年度教育費当初予算(案)について
令和5年3月17日	(報告) ・令和5年度各種職員の採用について 他2件 (議案) ・教職員人事の内申について 他4件

## 2. 教育委員会関係規則等の制定及び改正状況

令和4年度において制定及び改正された教育委員会関係規則等は次のとおりです。

### ○教育委員会関係規則等

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
(R4年)			
1	・更別村農村環境改善センター図書室管理規則の一部を改正する規則制定の件	R4. 3. 15	R4. 4. 1
2	・更別村立認定こども園上更別幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定の件	R4. 3. 15	R4. 4. 1
3	・更別村行政手続等の押印見直しに伴う関係規則の整理に関する規則制定の件	R4. 3. 15	R4. 4. 1
4	・更別村立学校管理規則の一部を改正する規則制定の件	R4. 4. 15	R4. 4. 15
5	・更別村柔剣道場管理規則の一部を改正する規則制定の件	R4. 9. 14	R4. 10. 1

6	・ 更別村農業者トレーニングセンター管理規則の一部を改正する規則制定の件	R4. 9. 14	R4. 10. 1
7	・ 更別村コミュニティプール管理規則の一部を改正する規則制定の件	R4. 9. 14	R4. 10. 1
(R4 年)			
1	・ 更別村こども夢基金事業助成金交付要綱の制定の件	R4. 2. 15	R4. 4. 1
2	・ 更別村立学校職員ストレスチェック制度実施規程の一部を改正する規程制定の件	R4. 2. 22	R4. 4. 1
3	・ 更別村教育委員会教育奨励賞規程の一部を改正する規程制定の件	R4. 3. 15	R4. 4. 1
4	・ 修学旅行の引率業務等に従事する更別村立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領制定の件	R4. 3. 15	R4. 4. 1
5	・ 更別村立学校職員の自家用車の公用使用に関する規程の一部を改正する規程制定の件	R4. 4. 15	R4. 4. 15
6	・ 更別村立学校職員の自家用車の公用使用に関する規程の一部を改正する規程制定の件	R4. 8. 23	R4. 8. 23

### 3. 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校行事、各種団体等の行事等に出席し、直接学校関係職員や地域の皆様のご意見を伺うなどの活動を行っています。

#### ○主な活動状況

年月日	活動内容	委員名
(R4 年)		
4/ 5	教職員辞令伝達式	佐藤委員他 3 名
4/ 8	更別小学校入学式 上更別小学校入学式 更別中央中学校入学式	草深委員他 1 名 佐藤委員他 1 名 佐藤委員他 2 名
4/15	第 1 回教育委員会議	佐藤委員他 2 名
5/24	第 2 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
5/29	更別中央中学校体育祭	佐藤委員他 2 名
6/11	認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同運動会	佐藤委員他 1 名



6/12	更別小学校運動会	佐藤委員他 1 名
6/21	第 3 回教育委員会議	佐藤委員他 2 名
7/ 3	更別幼稚園運動会	佐藤委員他 2 名
7/13～15	教育委員会道内研修・北海道市町村教育委員研修会 (旭川市、上川町、由仁町、札幌市)	佐藤委員他 3 名
7/20	第 4 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
8/23	第 5 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
9/22	第 6 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
9/27	第 7 回教育委員会議	佐藤委員他 2 名
10/ 1	更別中央中学校文化祭	佐藤委員他 2 名
10/ 6	南十勝教育長、教育委員・校長研修会	本間委員他 2 名
10/27	第 8 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
10/28	第 52 回更別村教育研究大会	佐藤委員他 3 名
11/ 1	十勝教育を考えるつどい	佐藤委員他 3 名
11/ 3	更別村文化賞・スポーツ賞等表彰式	佐藤委員他 3 名
11/11	更別小学校学習発表会	佐藤委員他 3 名
11/12	認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同学習発表会	佐藤委員他 3 名
11/14	十勝管内教育委員会教育委員研修会	佐藤委員他 3 名
11/20	更別幼稚園学習発表会	佐藤委員他 3 名
11/22	第 9 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
12/21	第 10 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
(R5 年)		
1/ 8	令和 5 年二十歳を祝う会	佐藤委員他 3 名

1/17	第 11 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
1/20	村づくり懇談会	佐藤委員他 3 名
2/19	令和 4 年度更別村の教育を考える村民集会	佐藤委員他 3 名
2/22	第 12 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
2/27	令和 4 年度二村教育委員研修会	佐藤委員他 3 名
2/28	教育奨励賞授与式（更別農業高等学校）	佐藤委員
3/ 6	教育奨励賞授与式（更別中央中学校）	寺井委員
3/ 7	教育奨励賞授与式（上更別小学校）	本間委員
3/ 9	教育奨励賞授与式（更別小学校）	神成委員
3/15	更別中央中学校卒業式	佐藤委員他 2 名
3/17	第 13 回教育委員会議	佐藤委員他 3 名
3/23	更別小学校卒業式	佐藤委員他 3 名
3/24	更別幼稚園卒園式 上更別小学校卒業式	佐藤委員他 1 名 本間委員他 1 名
3/25	認定こども園上更別幼稚園卒園式	佐藤委員他 3 名

#### 4. 各種委員会等の設置及び概況

更別村教育委員会に設置している主な審議等の機関及び令和4年度における開催実績等は下記のとおりです。

名 称	委員 数	会 議 回 数	内 容	開催年月日
更別村学校教育 推進協議会	12	3	学校教育の指向上を図るため、教職員の研究事業並びに小中学校等の文化、体育の各種事業を通じて教職員が交流を深め、もって児童・生徒の学力の向上と豊かな人間性を醸成に資することを目的とする。	R 4. 4. 22 R 4. 5. 12 R 4. 3. 17
更別村小・中学校 学校運営協議会	10	4	(更別小学校) 保護者・地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善・児童生徒の健全育成に取り組むとともに、学校の支援組織として学校が協力を求める事業に積極的に関わる。	R 4. 4. 26 R 4. 8. 18 R4. 12. 9(書面) R 5. 2. 28
			(上更別小学校) 同 上	R 4. 4. 26 R 4. 8. 18 R 4. 12. 6 R 5. 2. 16
			(更別中央中学校) 同 上	R 4. 4. 26 R 4. 8. 18 R4. 12. 12(書面) R 5. 2. 21
更別村教育支援 委員会	9	3	就学児童や学齢児童・生徒の適正な就学指導、特別支援学級の活動を支援する。	R 4. 6. 20 R 4. 12. 7 R 5. 1. 24
更別村教育研究所	8	4	更別村教育の今日的な課題を明らかにするとともに、学校教育実践上の課題について調査研究を進め、教育推進の充実に資する。	R 4. 5. 10 R 4. 6. 21 R 4. 12. 1 R 5. 2. 7
更別村社会教育 委員	7	4	社会教育全般に関する諸計画立案や調査研究を行う。	R 4. 4. 27 R 4. 10. 5 R 4. 12. 14 R 5. 3. 13

更別村スポーツ 推進委員	5	4	スポーツ推進のための事業実施に係る 連絡調整及び実技指導、指導・助言を行 う。	R 4. 6. 8 R 4.10. 4 R 4.12. 8 R 5. 3.29
更別村学校給食セ ンター運営委員会	8	3	更別村教育委員会の諮問等に基づき学 校給食センター運営の重要事項の審議、 協議を行う。	R 4. 7.28 R 5. 2.20 R 5. 3.27
どんぐり子供交流 委員会	15	3	東松島市と更別村の児童が互いに市村 を訪問し交流を行う事業の企画・運営を 行う。	R 4. 5.23 R 4. 7.11 R 5. 3. 7
総合誌さらべつ 編集委員会	6	5	総合誌さらべつの原稿募集、編集、発刊 を行う。	R 4. 7.25 R 4.10.14 R 5. 1. 5 R 5. 1.26 R 5. 3. 2
更別村コミュニテ ィ・スクール委員会	11	4	各学校運営協議会・教育委員会・みんな の学校応援団等と連携を図り、意見・情 報交換の場としてコミュニティ・スクー ル全般に関わることを協議する。	R 4. 4.26 R 4. 8.18 R 4.11. 9 R 5. 3. 8

## 5. 令和4年度教育予算の状況

### (1) 予算編成

#### ○当初予算・補正予算

「更別村教育目標」には、大きな4つの柱があります。

- 1) 人と人との関わりや生命を大切に、積極的に運動し自らを鍛え、強い意志と美しい心を持ち、日々の生活を楽しいものにする。
- 2) 世の中の情報に関心を持ち、自ら考え正しい判断をし、相手の立場を認め思いやりを持ち、豊かな生活を築く。
- 3) 自ら学び続けて教養を身につけ、文化に触れて心豊かな生活を生み出す。
- 4) 先人の努力に学び、恵まれた自然を生かし、歴史や伝統を踏まえ、平和で心豊かな潤いのある生活を生み出す。

4つの教育目標の実現を図るため、教育行政執行方針を基に「第6期総合計画」で掲げる事業を推進し、その関連に沿って施策の見直しを行い、教育に対する村民の意識や関心を高め、家庭・学校・地域が連携協働のもと、学校教育、社会教育の発展を図るため、諸般の施策を限られた財源の中で重点的・効果的に活用することを基本とし、予算編成を行いました。

学校教育の充実では、豊かな心と確かな学力の定着を目指し、自ら問題を解決するための資質と能力「生きる力」を育み、自主性を高め、主体的・対話的で深い学びが得られる学校づくりを鋭意進めております。

学習指導要領改訂に伴い、令和2年度から小学5・6年生の外国語が教科化されております。令和4年度は令和3年度から引き続き、中札内村と共同で外国語の専科教諭を配置するとともに、サポートとして外国語指導助手（ALT）を引き続き確保しました。併せて、小学3・4

年生の外国語活動と中学生の英語授業に国際交流員が補助的に関わることで、外国語教育の一層の充実と国際理解教育を推進しております。

小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度からプログラミング的思考を育てる教育が必修化されたことから、研修等を活かして授業に取り組み、未来を切り拓いていく力の醸成を図っております。

いじめや虐待が原因と思われる痛ましい事件が後を絶たず、体罰・不登校問題など様々な事案も社会問題化しております。個々の抱える事象に対し、身近に相談できる体制構築が重要なことから、スクールカウンセラーを引き続き配置し、学校・家庭・地域の連携協力のもと、早期発見と早期対応に努めております。

教育上の特別な配慮が必要な児童生徒に対して各学校に特別支援教育支援員を配置し、個々の状況に応じたきめ細やかな学習体制の構築を図っております。

教職員の教育力向上及び研修活動の推進に関し、中札内村との指導主事の共同設置を継続して行い、積極的な情報提供や研修活動の推進を図りました。

上更別幼稚園は、平成30年4月に、ゼロから2歳児の保育、子育て支援などの機能を併せ持った認定こども園として整備し、地域における子育て環境の充実を図っております。

更別農業高等学校への教育支援では、生徒確保の対策として、スクールバスの運行経費、路線バスの乗車費用負担等の助成を行うとともに、各種資格取得経費への助成などを継続して実施しておりますが、少子化等の影響により生徒数は年々減少傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びロシアによるウクライナ侵攻に伴う国際情勢の不安から、令和2年度に続き海外実習派遣事業を中止しております。また、校舎等の改修・設備備品等の整備については、北海道教育庁への要請活動を2年ぶりに実施しましたが、厳しい道財政の中にあって要請した項目について実施には至りませんでした。

村立学校施設設備の改修では、更別小学校の老朽化した屋外トイレを校舎横に新設し利用向上を図ると共に、上更別小学校では旧屋外トイレの解体工事及び車庫を新設、その他、児童女子トイレの改修を行い衛生環境の向上を図りました。中央中学校においては雨水等の浸透によりタイル等の損傷が激しかった屋体玄関の改修を行いました。

生涯学習・社会教育の推進につきましては、「第9次社会教育中期計画」に基づき事業を推進しましたが、令和2年度より感染拡大した新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、徐々にではありますが以前の学習環境に戻りつつありますが、まだ予断を許さない状況が続きました。

青少年教育では、毎年の中札内村と共同開催している青少年劇場は、幼児の部、小学低・高学年及び中学生の部とそれぞれ実施し、子供たちが本格的な芸術文化に触れ合う機会となっております。東松島市とのどんぐり子供交流事業につきましては、更別村を会場に感染対策を十分行った上で小学5年生を対象に実施することができました。

成人教育に係る講座開催につきましては、夏季講座は実施できたものの、冬季講座は担当係の人員減により企画運営が困難となり、住民の方への学習機会の提供が十分にできない状況となりました。

高齢者教育の末広学級は、前年度に続き制約のある中ではありましたが、工夫しながら活動を中止することなく進めてきたところです。

文化の振興では、昨年度平成16年以来のヤチカンバ生育個体数等調査を実施し、約半数にまで減少していたことを踏まえ、植生図の作成及びヤチカンバ生育に影響があるとされているオオイタドリの駆除試験を実施しました。また、文化協会及び郷土芸能活動発展へ向けての支援を継続して行っており、総合文化祭芸能発表会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していましたが、3年ぶりに開催することができました。

国際交流事業であります中学生海外研修事業は、渡航制限や隔離措置が依然として厳しい状態であることを鑑み、内容等合わせ再検討することとしております。

平成31年度にスタートしました更別村コミュニティ・スクールは、令和2年度に策定したアクション・プランに掲げられた項目の重点化を行い、各学校運営協議会、コミュニティ・スクール委員会、どんぐり村子ども会議で熟議を深めました。

スポーツ活動の振興では、スポーツ少年団や部活動に係る大会は一定程度再開されましたが、村内各スポーツ団体が主催する各種大会につきましては、感染リスクを考慮し、中止せざるを得ない大会もありました。なお、教育委員会主催のどんぐり健康マラソン大会は、関係団体の協力の下、3年ぶりに実施することができました。

施設整備の面では、農村環境改善センターと農業者トレーニングセンターの温水ボイラーの更新を行いました。

## (2) 教育費の予算

令和4年度教育費の予算現額は459,521千円で一般会計予算額の約7.52%を占め、前年度と比較し4,808千円の増額となりました。

教育費における項・目別予算現額の内容は次のとおりです。

○令和4年度教育費予算額の内容(項・目別予算)

(単位：千円)

項及び目	予算額	項及び目	予算額
1 教育総務費	160,587	5 社会教育費	51,421
(1) 教育委員会費	34,230	(1) 社会教育総務費	29,369
(2) 事務局費	125,856	(2) 社会教育施設費	22,052
(3) こども夢推進費	501	6 保健体育費	80,299
2 小学校費	70,169	(1) 保健体育総務費	4,056
(1) 学校管理費	68,238	(2) 体育施設費	47,555
(2) 教育振興費	1,931	(3) 学校給食費	28,688
3 中学校費	35,537	7 教育諸費	8,622
(1) 学校管理費	33,573	(1) 研究奨励費	3,294
(2) 教育振興費	1,964	(2) 学芸奨励費	3,802
4 幼稚園費	52,886	(3) 財産管理費	1,526
(1) 幼稚園管理費	52,886		
		計	459,521

## (3) 重点施策に関連する主な事業決算額

施策名：高等学校教育の振興・支援(教育総務費補助金)

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
更別農業高校生徒確保等支援事業	公立高等学校配置計画による学校再編が進む中、現行の学級数維持を図るため、村内外の入学者に対する通学費等の補助を行い高校の活性化を図る。	21,027
更別農業高校教育支援事業	寮運営、農業関係活動費等の支援を行うことにより、教育の振興発展と地域に根ざした信頼される学校づくりを図る。	3,950

施策名：教育環境・内容の充実（小学校）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
特別支援教育支援員 配置事業	一人ひとりの子供に対するきめ細やかな対応に資するため、両小学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。（計4名）	10,268
外国語指導推進事業	外国語教育の充実と国際理解教育推進向上を図る。 ・外国語指導助手（ALT）※5・6年計72時間対応	791
施設改修事業 （更別小学校） （上更別小学校）	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・屋外トイレ設置工事 ・車庫設置、屋外トイレ解体工事、女子トイレ改修工事	12,174 (7,645) (4,529)
感染症対策学校教育 活動継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響長期化が見込まれる中、教育活動を継続していく上で必要な感染症対策等を行い、子供の健やかな学びを保障する。 ・保健衛生用品、オンライン学習体制整備	1,913

施策名：教育環境・内容の充実（中学校）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
特別支援教育支援員 配置事業	一人ひとりの子供に対するきめ細やかな対応に資するため、中学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。（2名）	3,721
スクールカウンセラー 配置事業	専門的な知識を持つスクールカウンセラーを配置し、子供や保護者への心のケア・支援を行う。	1,034
施設改修事業	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・屋体玄関タイル改修工事	1,045
感染症対策学校教育 活動継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響長期化が見込まれる中、教育活動を継続していく上で必要な感染症対策等を行い、子供の健やかな学びを保障する。 ・保健衛生用品、オンライン学習体制整備 他	956

施策名：国際感覚の醸成（社会教育総務費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
国際交流事業	地域に根差した国際活動を通じ、子供から高齢者まで気軽に英語に接する機会を設け、国際感覚を身に付けるための取り組みを推進する。 ・国際交流員 1名配置	3,981

施策名：プログラミング教育環境の整備（社会教育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
プログラミング教育事業	小学校学習指導要領が令和2年度に改訂され、プログラミング教育が必修化されたことに伴い、体験の場を通じて子供たちのプログラミング的思考を育てる。(R4より絵本づくりや科学体験も実施)	1,030

施策名：高齢者の学習活動支援（社会教育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
高齢者教育推進事業	高齢化社会にあつて、高齢者が生涯学習を通じて生きがいづくり及び社会参加を行う等の事業を開催。ボランティアや地域づくりの促進を図る。	905

施策名：文化芸術鑑賞、芸術・文化活動の支援振興（社会教育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
青少年教育推進事業	青少年に芸術鑑賞や交流体験の機会を提供し、心の豊かさやゆとりを実感できる文化活動の振興・発展を図る。	980
文化推進事業	各種芸術鑑賞機会を提供するとともに、地域文化活動の推進と全村的な文化活動の振興・発展を図る。	3,904

施策名：学校の運営及び支援（社会教育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
コミュニティ・スクール推進事業	家庭・地域それぞれの人たちが学校運営協議会を通して学校運営に参画し、地域とともにある学校へ転換するとともに、コミュニティ・スクール委員会を設置し、関係機関と連携し協議を進める。	3,049

施策名：スポーツの振興、活動の支援（保健体育総務費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
スポーツ振興事業	スポーツを通じて住民の体力づくりや地域づくりを行い、スポーツ活動の振興・発展を図る。	2,966

施策名：社会体育施設の充実（体育施設費） 【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
体育施設改修事業	効率的な改修を行い、施設の長寿命化と社会体育体制の確保を図る。 ・農業者トレーニングセンター改修 (温水ボイラー更新)	4,620  (4,620)



施策名：給食の安心・安全の支援（学校給食費）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
ふるさと給食助成事業	食育教育の一環として、安心して安全な食材を提供するとともに地産地消の推進を図る。	1,500
保護者負担軽減事業	子育て支援のため、多子世帯の給食費の助成を行い負担軽減を図る。	2,389

施策名：教育体制の充実（研究・学芸奨励事業補助金）

【単位：千円】

事業名	事業概要	決算額
学校教育推進協議会助成事業	学校教育の指向上のため研究実践活動・教員の研修等を行い、自ら学び自ら考える力の定着など、生きる力を育む教育の推進を図る。	1,273
小中学校文化・スポーツ大会派遣事業	児童・生徒の全道・全国大会への派遣支援として助成を行い、文化・スポーツの推進を図る。	1,396

## 6. 頑張る子供たちへの支援

児童・生徒等の各種大会出場及び結果

大会名	派遣先	派遣月日	被派遣者	成績
令和4年度北海道中学校体育大会第43回北海道中学校水泳大会	江別市	R4. 7. 22 ～24	宍戸淳之助 (中央中3年)	男子 100m平泳ぎ：9位 200m平泳ぎ：9位
第77回北海道国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会	苫小牧市	R4. 8. 9 ～10	高橋紗弥花・横山愛里 (中央中3年)	女子ダブルス個人戦 ：2回戦敗退
2022年度北海道卓球選手権大会(カデットの部)	帯広市	R4. 9. 3 ～4	織田みそら (中央中2年) 橋爪悠希 (中央中2年) 吉田一翔 (中央中1年)	14歳以下女子シングルス 織田みそら ：3回戦敗退 橋爪悠希 ：2回戦敗退 女子ダブルス 織田・橋爪組 ：1回戦敗退 13歳以下男子シングルス 吉田一翔 ：2回戦敗退

2022 年度北海道卓球選手権大会 (一般・ジュニアの部)	旭川市	R4. 10. 14 ～15	織田みそら (中央中 2 年)	女子個人戦 : 1 回戦敗退
「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール		表彰式 R4. 11. 30	和田一花 (中央中 3 年)	国務大臣・国家公安委員長賞 (最高位)
全国中学生人権作文コンテスト 東北北海道大会		表彰式 R4. 12. 10	和田一花 (中央中 3 年)	最優秀賞
第 38 回道新杯北海道中学選抜卓球大会 (団体戦)	札幌市	R4. 12. 26 ～28	中屋敷栞那 (中央中 2 年) 織田みそら (中央中 2 年) 橋爪悠希 (中央中 2 年) 中野悠那 (中央中 2 年) 渡 百花 (中央中 2 年) 佐藤菜々香 (中央中 2 年)	女子団体戦 : 予選グループ 2 位 : 2 位トーナメント 1 回戦敗退
第 53 回北海道中学校スケート大会	帯広市	R5. 1. 6 ～ 8	<男子> 木本拓真 (中央中 2 年) 水口翔介 (中央中 2 年) 森田蒼平 (中央中 1 年)  <女子> 角玄春奈 (中央中 3 年) 半田 萌 (中央中 2 年) 本多留樹菜 (中央中 1 年)	3,000m : 7 位 5,000m : 11 位 500m : 7 位 1,000m : 10 位 500m : 20 位 1,000m : 18 位  500m : 15 位 1,000m : 19 位 500m : 22 位 1,000m : 23 位 1,000m : 41 位 1,500m : 44 位

第43回全国中学校スケート大会	長野県 長野市	R5. 2. 2 ～ 8	<男子> 木本拓真 (中央中2年) 水口翔介 (中央中2年) 森田蒼平 (中央中1年)  <女子> 角玄春奈 (中央中3年) 半田 萌 (中央中2年)	3,000m : 14位 5,000m : 16位 500m : 12位 1,000m : 10位 500m : 棄権 1,000m : 37位  500m : 16位 1,000m : 28位 500m : 28位 1,000m : 34位
全国中学生人権作文コンテスト中央大会		表彰式 R5. 2. 8	和田一花 (中央中3年)	奨励賞
国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022		表彰 R5. 2. 17	更別中央中学校	特別学校賞

## 7. その他

- 令和4年度各会計決算資料の掲載事項
  - \*学級数・児童生徒数・教職員数の状況 (P13)    \*農村環境改善センター利用状況 (P14)
  - \*農業者トレーニングセンター利用状況 (P14)    \*柔剣道場利用状況 (P14)
  - \*コミュニティプール利用状況 (P15)    \*学校等別給食日数の状況 (P16)
  - \*学校給食主食形態別内訳 (P16)

## 第 2 章 第 6 期更別村総合計画に基づく評価

### 第 2 章 の ポ イ ン ト

平成 29 年度に策定された「第 6 期更別村総合計画」（計画期間 2018 年度から 2027 年度・以下「総合計画」という。）に沿って教育委員会活動の点検・評価を行っています。

具体的には、総合計画の基本計画が全 6 章で構成される中で、教育委員会に関する第 5 章「人が育つまちづくり」中の目標について、令和 5 年度の実施状況を中心に点検し評価を行っています。

# 1 社会教育

## 【基本的な考え方、取り組み方針】

「社会教育中期計画」に示す社会教育振興の基本方針に基づき、生涯学習の観点に立った住民の自主的な社会教育活動を推進します。

## 【施策】

- ・ 社会教育を推進する体制の充実
- ・ 社会教育に関する情報提供の充実
- ・ 学習機会の提供、充実
- ・ 高齢者の学習活動支援

## ◇推進状況

目 標	社会教育を推進する体制の充実
現状・成果	中札内村との広域連携事業として園児及び小中学生を対象に青少年劇場を開催し、普段目にするのできない芸術鑑賞の機会を提供した。 また、高齢者学級の二村交流事業についても引き続き実施し、二村住民の親交を深める機会となった。 社会教育施設は、必要な予算計上と利用調整を行い、適正管理に努めた。
課 題	各分野ごとに精通した指導者の育成は、限られた人材の中で難しい課題である。 社会教育施設は経年と共に突発的な修繕等が考えられるが、利用に支障が生じないよう、計画的な改修等を進めていく必要がある。

目 標	社会教育に関する情報提供の充実
現状・成果	広報紙・折込・防災無線・ホームページを活用し、各種情報を随時提供している。 各団体・サークル活動の紹介は頻繁に行ってはいないが、文化関連なら総合文化祭や総合誌さらべつで作品を紹介。スポーツ関連なら広報紙上で大会結果をお知らせし、際立った活動は広報担当で取材の上、紙面掲載を行っている。
課 題	教育委員会主催事業はお知らせや募集など適時情報を発信しているが、自主運営団体等については発信がないと活動が見えづらい部分もあり、会員の固定化や高齢化に繋がり運営に支障が生じるケースもある。

目 標	学習機会の提供、充実
現状・成果	<p>新規講座を取り入れながら開設し、学習機会の提供を行っているが、令和4年度は新型コロナの感染拡大への懸念や担当係の人員減により予定数の開設には至らなかった。</p> <p>学習成果の発表及び学習意欲向上の機会として、総合文化祭は重要な役割を担っており、芸能発表会については令和元年度以来3年ぶりに開催することができた。</p>
課 題	<p>講座の開設は、自主運営活動に繋がるような内容で進めていく必要がある。</p> <p>講座の指導者は村内での人材確保が困難であり、村外講師に頼っているのが実情である。</p>

目 標	高齢者の学習活動支援
現状・成果	<p>高齢者の学習機会の提供として「末広学級」への活動支援を実施。毎月第2・4水曜日の学級開設のほか、各部による活動も精力的に行われている。</p>
課 題	<p>ライフスタイルの多様化等により、新規入級生が少なく生徒数は減少の一途にある。平均年齢も上がっており、役員の担い手確保も難しい状況である。</p>

## 2 芸術、文化

### 【基本的な考え方、取り組み方針】

芸術文化を通して心の豊かさやゆとりを実感できるよう、芸術文化に親しむ場や機会をつくれます。

更別固有の郷土芸能や文化財等を保護・保存し、後世に継承するため、ふるさと教育を推進します。

### 【施策】

- ・ 図書室の充実、利用促進
- ・ 芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供
- ・ 文化財の保護、活用
- ・ 郷土芸能、伝統技術の伝承

### ◇推進状況

目 標	図書室の充実、利用促進
現状・成果	農村環境改善センター図書室は専任司書を配置し、限られたスペースの中で図書内容の充実に努めている。またイベント開催による利用促進を図る取り組みを行っている。 その他、備付のない蔵書については、他の図書館との相互貸借により対応を図っている。 また、図書室の利用が困難な上更別地域の子供たち向けに毎月2回移動図書館を開設し、利用促進を図った。
課 題	施設規模の都合で蔵書可能な数量に限りがある。専門書の充実も要望が挙げられた経過があるが、多種多様な専門書を単独で揃えることは現実的ではないため、他図書館との相互貸借体制を構築したところである。 既存スペースの中でできる限りのニーズに応えた図書選定を進めていく必要がある。

目 標	<b>芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供</b>
現状・成果	<p>文化協会を通じて各文化団体への支援を継続して行い、活動促進を図っている。</p> <p>未就学児童・小学生・中学生向けに毎年中札内村と共同で行っている青少年劇場を開催し、普段接することの少ない本格的な芸術鑑賞の機会を設けた。</p> <p>なお、村内団体が主催する文化振興公演等の支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度以降申請がなかった。</p>
課 題	<p>文化協会加盟単協の中には高齢化と相まって新規会員の確保も苦慮している状況にあり、会員減少・活動停滞が危惧されている。</p> <p>新たな単協創設のきっかけとなるような講座の展開が求められる。</p>

目 標	<b>文化財の保護、活用</b>
現状・成果	<p>村の歴史上重要な拠点に整備した史跡銘板を維持管理し、歴史の保存意識を深めている。</p> <p>学術的にも貴重とされている北海道指定天然記念物ヤチカンバは、平成16年度以来の個体数調査を昨年度実施した結果、当時の3,239本から1,494本まで減少していたため、本年度は有識者等の意見を参考に、生育に支障があるオオイタドリの駆除試験及び植生図作成調査を実施した。</p> <p>過去、育苗した苗を各小中学校敷地内へ移植しており、児童生徒に対する自然環境保全の意識高揚を図っている。</p>
課 題	<p>ヤチカンバは株数減少が顕著であることから、有識者の意見を参考に、次年度以降も引き続き支障樹種の除去等の対策を図る必要がある。</p>

目 標	<b>郷土芸能、伝統技術の伝承</b>
現状・成果	<p>郷土芸能の「さらべつかしわ太鼓保存会」、「スッチョイサ踊り保存会」への活動支援を行っており、例年村内外の行事等で活動成果を発表している。</p> <p>かしわ太鼓保存会は少年部の指導を通じて後継者育成を図っており、スッチョイサ踊り保存会は社会教育事業（子供交流事業など）と連携し、小学生の体験活動を通じて普及活動に努める他、文化庁の地域の伝統行事のための伝承事業を活用し映像記録の制作を行った。</p>
課 題	<p>スッチョイサ踊り保存会は、高齢化、後継者不足が続いており、引き続き、後世に残す方策が必要。</p>



### 3 スポーツ

#### 【基本的な考え方、取り組み方針】

明るく豊かで活力に満ちた社会づくりや住民の心身の健全な発達を促進するため、生涯にわたってスポーツに親しめるよう努めます。

#### 【施策】

- ・ スポーツ施設の充実
- ・ スポーツの振興体制づくり
- ・ スポーツに関する活動の促進

#### ◇推進状況

目 標	スポーツ施設の充実
現状・成果	<p>屋内施設では、農業者トレーニングセンターをはじめ、柔剣道場、コミュニティプール、地区体育館、学校開放事業施設の適正管理に努めている。</p> <p>屋外施設では、更別運動広場、ソフトボール場及びテニスコートに照明施設を設置し夜間の利用にも対応している。</p> <p>また、道東地区で盛んなスピードスケート振興のため、村民グラウンドに冬季間スケートリンクを整備。外部委託による上質な製氷管理を行っている。</p> <p>その他、他課管理施設として、ふるさと館屋内広場・屋外広場、屋内ゲートボール場、どんぐり公園パークゴルフ場等もあり、幅広くスポーツ活動の場として利用されている。</p>
課 題	<p>施設は充実しているが、利用者の固定化・少子化・高齢化などにより利用者数が減少傾向にあることから、民間ノウハウを得て有効利用を図れるよう、指定管理者による管理を導入予定である。</p> <p>施設の経過年数や劣化状況を見ながら、計画的な改修を進める必要がある。</p>

目 標	スポーツの振興体制づくり
現状・成果	<p>スポーツ活動の指導者確保並びに技術向上に向け、研修派遣助成制度を設けて指導者育成を促進している。</p>
課 題	<p>求められる指導者像は各団体により異なることから、相談があった場合は活動継続に繋がる体制づくりをサポートする必要がある。</p>

目 標	スポーツに関する活動の促進
現状・成果	<p>少年団及び成年層で組織する各スポーツ団体の自主的な運営に対して活動支援を行っている。ただし、新型コロナウイルス感染防止対策として、日々の活動に影響が出たり、中には村内団体が主催する各種大会ができないケースがあった。</p> <p>また、スポーツ少年団や部活動以外での子供たちの活動に対し、こども夢基金を活用して上位大会への参加支援を行っている。</p> <p>トレーニングセンターでは曜日毎に種目別スポーツの日を定めており、利用しやすい環境整備に努めている。</p>
課 題	<p>スポーツは、個人の体力等に応じて自主的に取り組めることが重要であり、無理をせず継続し、健康増進に繋げられるよう普及することが必要である。</p>

## 4 子育て支援

### 【基本的な考え方、取り組み方針】

子供を安心して産み育てられる子育て支援環境づくりに取り組みます。

### 【施策】

- ・ 子育ての支援体制、サービスの充実
- ・ 子育てへの不安の解消
- ・ 子供が遊ぶ場や機会の拡充

### ◇推進状況

目 標	<b>子育ての支援体制、サービスの充実</b>
現状・成果	本項目で教育委員会が所管する取組は幼保小の連携の部分であり、更別小学校区では幼保小の園児・児童の交流活動、上更別小学校区では幼小合同の運動会及び学習（保育）発表会等を行っている。また、様々な場面で教職員同士の情報交換を実施している。
課 題	煩雑な教職員業務の中で効率的に調整を行い、必要な部分の連携を深化させていくことが求められる。

目 標	<b>子育てへの不安の解消</b>
現状・成果	各幼稚園及び小・中学校の家庭教育学級へ、活動支援を継続。 各校で子供たちの様子に目配りしながら虐待の早期発見に努めている。 子育てに係る経済的負担軽減策では、要保護・準要保護児童就学援助、特別支援教育就学奨励、学校給食費保護者負担軽減助成、ふるさと給食助成、中央中から更農高へ進学する生徒への被服購入支援を実施している。
課 題	物価上昇の影響により各家庭の経済状況が厳しさを増す中、必要な支援を進めていく必要がある。

目 標	<b>子供が遊ぶ場や機会の拡充</b>
現状・成果	<p>教育委員会が所管する施設で子供たちが自由に遊べる空間として、屋外では更別農村公園・更別運動広場・上更別運動広場を、屋内では農業者トレーニングセンター（2階含む）・改善センターロビーを整備し、ホームページや子育て応援課作成の「子育て応援ガイド」で紹介している。</p> <p>小・中・高校生、地域住民、高齢者との交流を、社会教育及び学校教育それぞれの分野で実施している。</p>
課 題	<p>子供たちの活動は多様化しており、居場所の在り方は適宜検討していく必要がある。</p>

## 5 学校教育

### 【基本的な考え方、取り組み方針】

児童・生徒一人ひとりが、地域でのびのびと学校生活を送れるよう、教育環境と教育内容の充実に努めます。

### 【施策】

- ・ 小中学校の教育環境の充実
- ・ 小中学校の教育内容の充実
- ・ 教育体制の充実
- ・ 高等学校教育の振興・支援

### ◇推進状況

目 標	小中学校の教育環境の充実
現状・成果	<p>学校施設は築年数が嵩んでいることから、長寿命化を図るため、計画的に整備を進めている。</p> <p>中学校校舎については、耐力度調査の結果と村全体の施設整備状況を考慮し、なお時間をかけて検討することとした。</p> <p>情報教育の部分では、GIGAスクール構想に基づく校内通信ネットワーク環境整備と一人1台端末の導入を行っているが、更なる充実に図るため、効率的な授業展開に資する問題データベースやタブレットドリル、教師用デジタル教科書などを導入した。</p> <p>スクールバス車両は、総合計画に基づき近年中に更新予定。運行委員会の意見を踏まえて効率的な運行体制の確立に努めている。</p>
課 題	<p>校舎整備は年次的に計画を立てているが、経年とともに突発的な修繕も発生している。学校以外の公共施設も同時期に建設したものが多いため、財政部局と協議をしながら、効率的な整備を進めていくことが求められる。</p> <p>GIGAスクールは、設備の保守管理や端末更新等に多額の費用を要することが予想されるため、様々な場面を通じて国へ補助の新設要望を行っている。</p> <p>スクールバスは国庫補助の対象だが、自己負担も伴うため、真に必要な車両を厳選することが求められる。</p>

目 標	小中学校の教育内容の充実
現状・成果	<p>学力向上へ向けては、新学習指導要領の趣旨を踏まえて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業となるよう年間指導計画に基づき取り組んでいる。</p> <p>今年度実施した全国学力・学習状況調査では、小学校で国語・算数・理科の一部領域で全国を上回り、中学校では国語の全領域と数学・理科の一部領域で全国を上回る結果となった。</p> <p>体力向上の面では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において小学校男子で全8種目中3種目、女子は5種目で全国を上回り、中学校男子は全8種目中3種目、女子は立ち幅跳びが全国を上回る結果となった。</p> <p>小・中学校間は円滑な接続に向けた連携が重要であることから、校長会議、教頭会議をはじめ、教育研究所や教育支援委員会等の場を活用し、管理職のみならず教諭段階においても積極的に情報交換を行っている。また、スムーズな中学校生活に繋げられるよう、小学校2校の合同修学旅行を実施し、児童同士の理解を深める一助とした。</p> <p>特別な支援を要する児童生徒へのきめ細やかな教育環境確立に資するため、各学校に引き続き支援員を配置した。</p> <p>安全安心な学校給食を提供するため、JAさらべつをはじめ、納入先を厳選して食材を選定した。</p> <p>令和2年度から教科化された小学5・6年生の外国語授業へは、中札内村と共同で専科教諭を配置し、教育体制の充実を図ったところである。外国語指導助手（ALT）についても引き続き配置し、専科教諭と共にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成を図った。</p> <p>ふるさと教育については、小学3・4年生段階で副読本を使った地域の歴史・産業等の学習をはじめ、コミュニティ・スクールを介した地域人材の協力による授業支援等を幅広く実施した。</p>
課 題	<p>学力・体力とも全国平均を上回る結果となっているが、項目別では全国平均を下回っている項目もあることから、検証サイクルと指導方法を更に工夫改善し、向上へ向けた取組を進める必要がある。</p> <p>特別支援教育支援員の存在は重要であることから、求める人材の確保に努める必要がある。</p> <p>給食施設は厚生労働省の衛生基準に適合していないことから、施設整備に向けた検討が必要。</p> <p>インターネットの普及により国際化は益々身近になっており、次代を担う子供たちにとって外国語を通じたコミュニケーション能力の育成は重要であることから、専科教諭の継続配置に向けた取組が必要である。</p>

目 標	教育体制の充実
現状・成果	<p>教職員の指導力向上に向けた取組については、村教育研究所、十勝教育研修センター、道立各教育センター等の研修機関への積極的な参加を奨励しているほか、中札内村との指導主事共同設置事業を継続しており、教職員への指導、助言、情報提供等、専門的なスキルをもって教育力の向上が図られている。</p> <p>コミュニティ・スクールは4年目に入り、前年度から引き続きインターネットとの付き合い方を重点化し、各学校運営協議会及びコミュニティ・スクール委員会での熟議、小中学校児童会・生徒会によるどんぐり子ども会議での協議を経て、「子どものネット・スマホ・ゲームとの付き合い方ルール宣言」を決定した。</p> <p>不登校児童・生徒への対応や発達に不安のある家庭への支援のため、スクールカウンセラーを引き続き1名を配置しており、相談体制を構築することができた。</p> <p>教職員住宅は築年数が嵩んでいる棟もあるが、必要な改修等を行い適正管理に努めた。</p>
課 題	<p>指導主事の存在は大きく継続配置を望むところであり、中札内村との調整を進めていく必要がある。</p> <p>コミュニティ・スクールは、積極的な活動展開や情報発信により年を追うごとに地域への浸透が図られていると感じているが、より地域総がかりで子供たちを育てる意識を醸成するため、継続した取組が必要である。</p> <p>スクールカウンセラーは限られた人材が管内複数校を兼任している状況から、本村の希望どおりにはいかない部分がある。</p> <p>一定の経年状況にある教員住宅は整備を考えなければならないが、今後の学校整備の在り方に大きく左右されるものである。</p>

目 標	高等学校教育の振興・支援
現状・成果	<p>道立更別農業高等学校の教育振興及び地域に根ざした信頼ある学校づくりを進めるとともに、生徒確保に向けた様々な事業に対し支援を継続した。</p>
課 題	<p>地域へ密着した学校であり存在意義は大きく、生徒確保は最重要課題であるが、少子化と相まって管内他校でも同様の支援を行っており、確保は容易ではない。</p> <p>生徒数減が支援額増に繋がる事業もあることから、財政状況を考慮しつつ最大限の効果を得られるよう、内容を精選し支援を継続する必要がある。</p>

## 6 青少年育成

### 【基本的な考え方、取り組み方針】

家庭・学校・地域と連携し、地域とのかかわりを通して青少年の健全な育成に努めます。

### 【施策】

- ・ 青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
- ・ 青少年を育成する活動の促進

### ◇推進状況

目 標	青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
現状・成果	<p>村では子供たちの健やかな成長を、地域・家庭・学校が一体となって見守り育てていくことを目的に「更別村教育の日」を制定している。2月第3日曜日に「更別村の教育を考える村民集会」を3年ぶりに開催し、地域が子供たちを育む意識の醸成を図った。</p> <p>コミュニティ・スクールでは、令和2年度に策定したアクション・プランの施策として、昨年度から引き続きインターネットとの付き合い方を重点化し、アンケート結果等を踏まえ熟議を重ね、青少年の生活習慣向上のため取組を進めた。</p> <p>家庭教育学級・PTA活動の充実に繋げるための運営支援も継続しているが、新型コロナウイルスの影響を考慮しながらの活動展開となった。</p>
課 題	<p>青少年健全育成には、地域総がかりで育てる意識の醸成が肝要。その中でコミュニティ・スクールの活動は活発であり、更なる意識付けを目指した取組と情報発信が重要である。</p>

目 標	青少年を育成する活動の促進
現状・成果	<p>少年団活動は、子供のうちから団体生活での社会性・自主性を育む良い機会であるため活動支援を継続。ほか、地域子ども会への活動助成、こども夢基金を活用した子供たちの多様な体験への事業支援を行っている。</p> <p>こども夢基金事業は、内容が分かりにくいなどの声を受け、昨年度にメニューの刷新を行い、各種事業への助成を実施した。</p> <p>勤労青年で構成する「更別村農村青少年連合会」は、これからの地域を担う人材が集まっていることから育成のための活動支援を継続している。</p>
課 題	<p>現在支援を行っている事業の活動状況を随時確認し、効果を発揮するような対応を図る必要がある。</p> <p>こども夢基金事業は、内容見直しにより活用の幅を広げたところだが、多くの方に利用してもらえよう頻りに情報発信を行う必要がある。</p>



## 7 国内外交流

### 【基本的な考え方、取り組み方針】

既存の地域間交流の推進とともに、国内外との交流の枠が広がる取り組みを進めます。

国際化に対応したまちづくりを進めます。

### 【施策】

- ・ 国内地域との交流の促進
- ・ 国外との交流、国際社会に対応した地域づくり

### ◇推進状況

目 標	国内地域との交流の促進
現状・成果	地域ボランティアの協力の下、宮城県東松島市の子供たちと相互に訪問を行っている「海と大地子ども交流事業」は、感染対策を行った上で小学5年生を対象に更別村を会場に実施した。
課 題	ホームステイにより子供を含めた家族間同士の相互交流による絆を深め、継続した交流促進を大きな目的としているが、時代の流れや感染症対策等を踏まえ内容を精査していく必要がある。

目 標	国外との交流、国際社会に対応した地域づくり
現状・成果	平成22～30年度までは外国語指導助手を配置していたが、令和元年度から国際交流員を再配置している。子供たちにはハロウィンやクリスマスなどの行事を通じて、一般向けには各段階ごとの英会話教室を毎週開催し、国際感覚を身近に感じてもらえるよう事業を展開した。 令和2年度からの開始を計画していた中学生海外研修事業は、新型コロナウイルス感染拡大及びロシアによるウクライナ侵攻に伴う世界情勢の不安もあることから、今年度も実施を見送った。
課 題	国際化の急激な進展により世界が身近に感じられる時代であり、ネイティブな外国語の習得へ向けた取組を更に進めていく必要がある。 海外研修事業は、内容を含め関係機関と連携を図りながら検討する。

◇ データ

○ 幼稚園数及び園児数の推移

区分	組、園児数 幼稚園名	組、園児数									
		H30 年度		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度	
幼稚園	更別幼稚園	3	33	3	33	3	38	3	39	3	39
認定こども園	上更別幼稚園	5	10	5	11	5	14	5	19	5	18
	計	8	43	8	44	8	52	8	58	8	57

○ 小・中学校数及び児童生徒数の推移

区分	組、児童数 学校名	組、児童・生徒数									
		H30 年度		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度	
小学校	更別小学校	10	155	10	148	11	137	11	138	11	128
	上更別小学校	6	26	4	22	5	19	5	19	6	21
	小 計	16	181	14	170	16	156	16	157	17	149
中学校	更別中央中学校	6	97	7	101	6	87	6	89	6	91
	計	22	278	21	271	22	243	22	246	23	240

※ 北海道立更別農業高等学校生徒数の推移

(参考)

	組、生徒数 学科名	組、生徒数									
		H30年度		R元年度		R2年度		R3年度		R4年度	
農業 高校	農業科	3	71	3	65	3	59	3	60	3	56
	生活科学科	3	56	3	64	3	57	3	47	3	39
	計	6	127	6	129	6	116	6	107	6	95

○ 学校別給食日数（令和4年度）

(単位：日・食)

区分	給食供給日数	食数
更別小学校	199	29,234
上更別小学校	196	6,292
更別中央中学校	199	21,341
幼稚園	173	5,855
調理場	205	1,203
試食・その他	205	1,012
計	1,177	64,937

○ 学校給食主食形態別内訳（令和4年度）

(単位：回・食)

区分	パン	米飯	めん類	計
回数	42	122	41	205
食数	12,652	37,265	12,805	62,722

○ 教職員住宅の管理状況（令和4年度）

学校名	面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	戸数	経過年数	備 考
更別小学校	69.22	S59	2	38	A-1、A-2
	69.22	S63	2	34	B-1、B-2
	69.22	S59	2	38	C-1、C-2
	74.82	H7	2	27	D-1、D-2
	74.82	H7	2	27	E-1、E-2
	74.82	H9	2	25	F-1、F-2
	小計			12	

上更別小学校	79.38	S56	1	41	A
	79.38	S58	1	39	B
	63.61	S59	2	38	1-1、1-2
	63.61	S59	2	38	2-1、2-2
	63.61	S61	2	36	3-1、3-2
	小計			8	

更別中央 中学校	79.37	H13	2	21	A-1、A-2
	61.56	S52	1	45	C
	61.56	S53	1	44	D
	60.75	S54	1	43	E
	60.75	S54	1	43	F
	60.75	S55	1	42	G
	小計			7	
合 計			27		

## 8. 令和4年度 教育委員会の事務・事業 評価

### (1) 評価の目的

評価は、計画 (Plan)・実施 (Do)・評価 (Check)・改善 (Action) というサイクルの中に位置付けられており、成果による施策・事業の管理 (マネジメント) を実現するための手法の一つです。

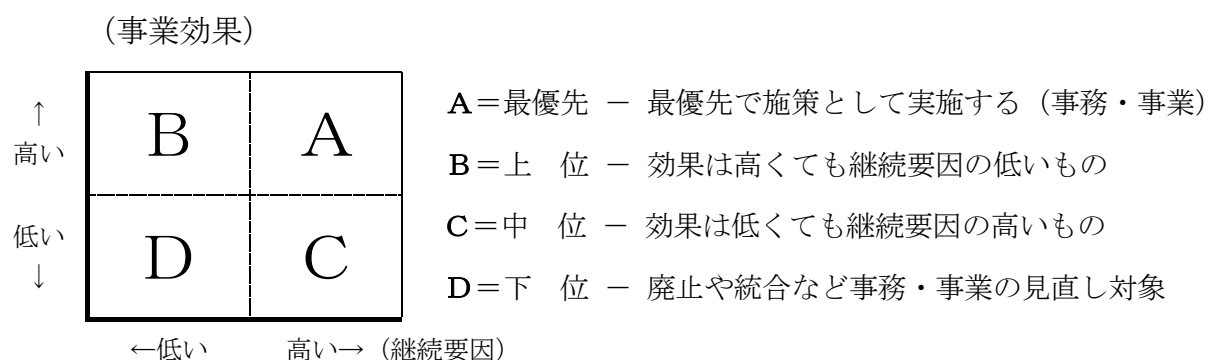
評価の実施によって事務・事業の現状把握や施策の効果測定を行い、課題解決のための意識改革や共通認識の向上を図ることにより、「予算という目的主義から効果や達成度が反映される決算重点主義への転換」と「マネジメントサイクルの確立による効率的な教育行政運営」を目指します。

### (2) 評価の区分

- ①一次評価～政策重視、スクラップ・アンド・ビルドの原則のもと、事務局による、  
所管する事務・事業の評価
- ②教育に関し学識経験を有する者の知見による指導助言
- ③最終評価～教育委員会議による一次評価に対する最終評価

### (3) 評価書のランク

評価は事業効果と継続要因の高低により A・B・C・D の 4 ランクに区分し、事務・事業優先度、見直し対象の区分を行い、次年度以降の執行にあたり効果的な教育行政の運営を目指します。



(4) 事務・事業ごとの評価

○ 事務・事業評価書

1) 学校教育関係

No	予算科目	事業名	ランク	No	予算科目	事業名	ランク
1	教育総務費	更別農業高校生徒確保等支援事業	A	14	中学校費	学校施設維持管理事業	A
2	教育総務費	更別農業高校教育支援事業	A	15	中学校費	学校施設改修事業 (屋体玄関タイル改修)	B
3	教育総務費	指導主事共同設置事業	A	16	中学校費	感染症対策学校教育活動継続支援事業	B
4	教育総務費	こども夢基金事業	A	17	中学校費	就学援助事業	A
5	小学校費	特別支援教育支援員配置事業(2校)	A	18	保健体育費	ふるさと給食助成事業	C
6	小学校費	外国語指導推進事業	A	19	保健体育費	給食費保護者負担軽減事業	A
7	小学校費	学校施設維持管理事業	A	20	教育諸費	教育奨励事業	A
8	小学校費	学校施設改修事業 【屋外トイレ設置(更小)、屋外トイレ解体工事、車庫設置、女子トイレ改修(上更小)】	B	21	教育諸費	研究奨励事業	A
9	小学校費	新型コロナウイルス感染症対策事業	B	22	教育諸費	学校スケートリンク造成管理事業	C
10	小学校費	感染症対策学校教育活動継続支援事業	B	23	教育諸費	各種文化・スポーツ大会派遣事業	A
11	小学校費	就学援助事業	A	24	教育諸費	学芸奨励事業	A
12	中学校費	特別支援教育支援員配置事業	A	25	教育諸費	教員住宅維持管理事業	C
13	中学校費	スクールカウンセラー配置事業	A				

## 2) 社会教育関係

No	予算科目	事業名	ランク	No	予算科目	事業名	ランク
1	社会教育費	生涯学習推進事業	A	14	保健体育費	農村公園維持管理事業	C
2	社会教育費	青少年教育推進事業	A	15	保健体育費	地区体育館維持管理事業	D
3	社会教育費	成人教育推進事業	A	16	保健体育費	コミュニティプール維持管理事業 (重油漏洩対策工事、ファンクター交換、プール照明ベンチ改修、温水機インバーター更新等)	C
4	社会教育費	高齢者教育推進事業	A	17	保健体育費	トレーニングセンター維持管理事業	C
5	社会教育費	文化推進事業	A	18	保健体育費	トレーニングセンター改修事業 (温水ボイラー更新)	B
6	社会教育費	図書室運営事業	C	19	保健体育費	村民スケートリンク造成管理事業	A
7	社会教育費	国際交流事業	B				
8	社会教育費	コミュニティ・スクール推進事業	A				
9	社会教育費	農村環境改善センター維持管理事業	C				
10	社会教育費	農村環境改善センター改修事業 (地下タンクライニング工事、温水ボイラー更新)	B				
11	保健体育費	スポーツ振興事業	A				
12	保健体育費	柔剣道場維持管理事業	C				
13	保健体育費	運動広場維持管理事業	C				

## 9. 更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価等に対する指導・助言事項

頁	点検・評価事項	指導・助言事項
14          (30)	施策名：教育環境・内容の充実 (中学校) 事業名：スクールカウンセラー 配置事業  (教育体制の充実)	スクールカウンセラーの活用については、子どもだけでなく、親の子育てに対する困り感の軽減につながっています。 今後も、要望・利用状況を踏まえた体制整備をお願いしたいです。
15          (30) (31)	施策名：学校の運営及び支援 事業名：コミュニティ・スクール 推進事業  (教育体制の充実) (青少年育成を推進する意識 づくり、体制の充実)	コミュニティ・スクール事業はコーディネーターを中心に活発に運営されていると思います。特に児童会・生徒会によって構成される「更別村こども会議」は、大人の押しつけではなく、自分たちが考え、行動するという観点からも良い仕組みだと見ています。(他町村のコミュニティ・スクールでも、こども会議的な子どもで検討する機関はない場合もあるようです) 新しいサポーターの開拓も含めて、今後とも継続をお願いしたいです。
21	社会教育 施策名：学習機会の提供、充実	3年程前の夢民塾で「そば打ち」に参加しました。男性の参加もあり人気で募集定員がすぐに埋まった様でした。 村内に講師もいます。村の文化協会の方に講師になってもらい、活動を見てもらうことで部員数増加につながるのでは？ (習字、俳句、パッチワーク、茶道など)
31	青少年育成 施策名：青少年育成を推進する 意識づくり、体制の充実	こども夢基金は内容を見直しを行ったということで、たくさんの活用を期待したい。

- 指導・助言者
- ・ 梶浦 加代子 (元更別村教育委員会委員)
  - ・ 栗原 利全 (更別村PTA連合会長)